

2014年10月31日

「2014世界ジュニア柔道選手権大会」

近藤亜美選手、玉置 桃選手が優勝！

10月22日（水）～26日（日）、アメリカ・フォートローダーデールで開催された「2014世界ジュニア柔道選手権大会」に、当社女子柔道部（監督：柳澤 久）から3名の選手が日本代表として出場し、近藤亜美選手（48kg級）、玉置 桃選手（57kg級）が優勝しました。

【大会結果詳細】

近藤亜美選手（48kg級） **優勝**

初戦から持ち前の積極的な柔道で攻め続け、横四方固で一本勝すると、続く2回戦も合技で、3回戦も横四方固で一本勝と、オール一本勝で準決勝に進みました。準決勝では、同じくオール一本勝で勝ち上がってきたブデスク選手（モルドバ）に合技で一本勝すると、迎えた決勝では、欧州ジュニアチャンピオンのロクマンヘキム選手（トルコ）に開始早々に巴投で一本勝しました。本大会オール一本勝で優勝した近藤選手は、8月の世界選手権との2冠を達成しました。

玉置 桃選手（57kg級） **優勝**

初戦（2回戦）を横四方固、3回戦を内股、4回戦を横四方固と全て一本勝。準決勝では今年のシニア国際大会で2回優勝をしているブーシェミンピナード選手（カナダ）に、投技と抑込の合技で一本勝と、多彩な攻撃で決勝に進みました。全日本ジュニア選手権と同様、出口クリスタ選手（山梨学院大）との対戦となった決勝でも、大外刈で一本勝。本大会オール一本勝し、2010年の48kg級での準優勝に続き、57kg級で初優勝を飾りました。

高山莉加選手（78kg級） **2回戦敗退**

初戦はスペインの選手に横四方固を決めて一本勝しましたが、2回戦は本大会3位に入賞したポーランド選手に善戦するも、指導差2にて2回戦敗退となりました。

以 上



表彰台で金メダルを手にし、笑顔の近藤亜美選手（左から2番目）
写真：アフロ



オール一本勝で初優勝し、笑顔の玉置 桃選手（左から2番目）
写真：アフロ